

船舶事故調査報告書

平成22年5月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	平成21年10月28日 18時20分ごろ
発生場所	長崎県平戸市 <small>しもかれきしま</small> 下枯木島灯台から真方位008° 3.1海里付近 (概位 北緯33° 15.28′ 東経129° 30.75′)
事故調査の経過	平成21年10月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <small>こうしょう</small> 耕頌丸、9.7トン NS2—13651（漁船登録番号）、個人所有 14.40m (Lr) × 3.33m × 1.34m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数120、昭和61年10月17日
乗組員等に関する情報	船長 男性 35歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成5年3月18日 免許証交付日 平成20年1月24日 (平成25年3月17日まで有効)
死傷者等	なし
損傷	全損
事故の経過	本船は、中型まき網漁業の灯船で、船長1人が乗り組み、九州西岸と長崎県平戸島との間で魚群探索を行い、下枯木島北方沖の漁場で投錨して主機を中立運転とし、集魚灯を点灯して集魚を開始した。 集魚中、船長は、平成21年10月28日18時20分ごろ機関室の異音に気付き、機関室を見たところ、機関室の天窓付近から火炎が出ているのを認めたが、火勢が強くて機関室に接近できず、18時40分ごろ、火災に気付いて接近した網船に移乗し、海上保安庁に救援を依頼した。 本船は、19時36分ごろ来援した巡視船により放水消火が開始されたが、20時41分ごろ事故発生場所から約1.8km南方で沈没した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1、視界 良好 海象：海面 平穏
その他の事項	機関室は操舵室後方に配置されていた。 船長は、出港前には機関室に入って燃料、潤滑油及び冷却水の点検を行い、異状を認めなかった。 火災発生時、主機の潤滑油及び冷却水の警報装置は、作動していなかった。 本船は、集魚灯として甲板上灯10個、水中灯2個を装備しており、本

	<p>事故時には甲板上灯 2 個、水中灯 1 個を点灯していた。 船長が網船に移乗するころには、機関室外板も燃え始めた。 沈没前には、甲板上の構造物はほとんど燃えていた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 なし 本船は、九州西岸と長崎県平戸島との間の下枯木島北方沖において、集魚灯を点灯して集魚中、機関室から出火したものと考えられる。 機関室から出火した原因は、明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、下枯木島北方沖において集魚中、機関室から出火したため、発生したものと考えられる。</p>	